

戦火の勇気 (1996)

COURAGE UNDER FIRE

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 116分

初公開日 1996/11/02

公開情報 FOX

【解説】

湾岸戦争の際、戦車部隊を指揮していたが、味方の戦車を誤射し親友を死なせてしまった過去を持つサーリング大佐（ワシントン）。その罪悪感に苛まれ続ける彼は、酒に逃げ妻との間もしっくり行かなくなる。そんな彼に、名誉勲章候補者調査の命令が下る。候補者は、湾岸戦争で戦死したウォーデン大尉（ライアン）。不時着したヘリの乗員を命を懸けて救った功績によるものだ。女性初の受勲に、大統領側近たちは乗り気だが、調査を進めるサーリングは、関係者の証言の微妙な食い違いに気づく。果たして彼女の真実の姿とは……。 「羅生門」からヒントを得たと言われるシナリオ構成は巧みで、最後まで目を逸らさせない。そして、一度は人生の負け犬となりかけた主人公が復活し、女性兵士の行動の真実が明らかになるクライマックスは圧巻にして感動的。食い違う証言内容に合わせ、同じシチュエーションで展開される3パターンのライアンの演技も素晴らしく、ラヴコメだけではない、彼女の幅を見せつける作品に仕上がっている。

【クレジット】

監督	エドワード・ズウィック	Edward Zwick	
製作	ジョセフ・M・シンガー	Joseph M. Singer	
	デヴィッド・T・フレンドリー	David T. Friendly	
	ジョン・デイヴィス	John Davis	
製作総指揮	ジョセフ・M・カラッシオロ	Joseph M. Caracciolo	
	デブラ・マーティン・チェイス	Debra Martin Chase	
脚本	パトリック・シーン・ダンカン	Patrick Sheane Duncan	
撮影	ロジャー・ディーキンス	Roger Deakins	
音楽	ジェームズ・ホーナー	James Horner	
出演	デンゼル・ワシントン	Denzel Washington	ナット・サーリング大佐
	メグ・ライアン	Meg Ryan	カレン・ウォールデン大尉
	ルー・ダイヤモンド・フィリップス	Lou Diamond Phillips	
	マイケル・モリアーティ	Michael Moriarty	
	スコット・グレン	Scott Glenn	
	ブロンソン・ピンチョット	Bronson Pinchot	
	レジーナ・テイラー	Regina Taylor	
	ショーン・アスティン	Sean Astin	
	ジェリコ・イヴァネク	Zeljko Ivanek	
	セス・ギリアム	Seth Gilliam	
	マット・デイモン	Matt Damon	イラリオ